

事業名	がん対策強化事業費		
細事業名	地域がん登録事業費	財務コード	092603
担当部課室	福祉保健 部 健康増進 課	がん対策推進 担当 (内線)	3525

事業の概要

実施期間	始期 H19 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)、補助(特定非営利活動法人 地域がん登録全国協議会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	健康増進課 がん担当職員	全国の地域がん登録事業について、情報交換が図られている	地域がん登録の精度の向上、県内の罹患率や死亡率の減少
事業の内容 主にH26年度	<p>特定非営利活動法人 地域がん登録全国協議会は、広く国民に対して、がん登録によるがん罹患、死亡、生存率等の情報を提供するとともに、公開セミナーや学術セミナー、調査及び研究、がん登録に関与する人材の育成等を行い、地方公共団体の実施する地域がん登録事業の充実・発展を支援する事業を通して、国民の保健、医療、療養の増進と、わが国のがん対策の推進に寄与することを目的として活動している団体である。</p> <p>山梨県は、県内のがんの罹患数、罹患率、生存率、がん患者の受療状況を把握し、がん予防・医療活動の企画評価等に役立てるため、「地域がん登録事業」を実施しており、全国46都道府県と1市及び賛助会員(民間企業等)等が入会している「地域がん登録全国協議会」への会費及び学術集会への参加費用を負担している。</p> <p>・対象事業 地域がん登録事業費負担金 地域がん登録全国大会協議会学術集会参加負担金</p>		
根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法、がん登録等の推進に関する法律(平成28年1月1日から)		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	25年度	26年度		27年度	28年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 学術協議会への参加	1	1	1	1	1	活動指標 目標設定の考え方 学術協議会への参加数
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	100.0 %				過去の実績
成果指標 成果指標達成率 (実績値/目標値)						成果指標 目標設定の考え方 データの出典等
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	%				
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	5,379		4,802	6,411	6,458	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	24 時間		24 時間	24 時間	24 時間	地域がん登録実施県担当者が一同に会し、最新情報の交換や精度向上、担当者の資質向上のための研修会が行われ、それから得た成果を本県の地域がん登録業務に反映させることにより、県内の罹患率や死亡率の減少に寄与している。
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間	
所要時間計	24 時間		24 時間	24 時間	24 時間	
人件費コスト単位:千円 (@2,048円×所要時間)	49		49	49	49	

これまでの事業の見直し・改善状況

--

活動量と成果の判断(平成26年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定		活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H26年度活動指標の達成率	活動量に係る一次評価	
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定		成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H26年度成果指標の達成率	成果に係る一次評価	地域がん登録実施県担当者が一同に会し、最新情報の交換や精度向上、担当者の資質向上のための研修及び研究発表会が行われている。この学術集会で得られた知見を本県の地域がん登録業務に反映させ、より精度の高い地域がん登録データとして集計することにより、本県のがん対策に役立てている。さらに、がん検診の受診の重要性を示すデータを集計し、県民のがん罹患予防、早期発見、早期治療、ひいては死亡率の減少に寄与しているため、意図した成果を上げていると考えられる。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成28年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	地域がん登録事業から得られた本県のがんに係る様々な集計データを基に、がん検診の実施主体である市町村のがんに係る啓発資材等で集計データを活用・掲載するよう促し、本県のがんの状況をより広く県民へ伝えると共に、がん検診の受診率向上に寄与できるよう、より一層のデータの有効活用を図る。	m

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: ITの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成28年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	本県の地域がん登録事業から得られたがんに係る様々な情報を、市町村担当者会議などの機会において提供し、市町村の啓発資材等を通じて広く県民に情報提供していく。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること